

事務事業名		大船渡魚市場整備事業			☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業																																						
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興			事業期間		予算科目																																						
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興					会計	款	項	目	事業																																		
	基本事業名	02 漁業経営の安定化と高付加価値化の推進					12	01	01	01	01																																		
根拠法令																																													
所属	部課名	農林水産部 水産課			☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度 ~) ☒ 期間限定複数年度 〔計画期間〕 平成11 年度 ~ 平成24 年度 全体計画欄の総投入量を記入																																								
	係 名	漁政係	電話	27-3111																																									
			内線	335																																									
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 老朽化した大船渡魚市場を高度な衛生管理に対応した施設として整備する。また、魚市場施設内に市民や観光客向けの活性化施設 (展示施設、飲食施設等) を併設し、地域活性化に資する。 県事業として施工中の現魚市場北側の公有水面約2haの埋立て完了後に、県費による人工地盤整備と市費による魚市場施設整備を行う。 平成16年度 魚市場施設の基本設計業務委託 平成17年度 展示施設の基本設計業務委託 平成18年度～19年度 実施設計業務 (魚市場施設及び展示施設) 委託 平成20年度～23年度 建設工事 平成23年9月 第1期開場予定 被災により遅れる見込み 平成24年9月 第2期開場予定 被災により遅れる見込み 事業費は、設計委託、工事請負費等に支出される。					全体計画 (期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">総 投 入 量 (千 円)</td> <td rowspan="5">事 業 費 内 訳</td> <td>財源</td> <td>国庫支出金</td> <td>1,502,948</td> </tr> <tr> <td></td> <td>都道府県支出金</td> <td>1,988,220</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td>2,945,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業費計 (A)</td> <td>6,436,797</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人 件 費</td> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>80,000</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>トータルコスト(A) + (B)</td> <td>6,516,797</td> </tr> </table>					総 投 入 量 (千 円)	事 業 費 内 訳	財源	国庫支出金	1,502,948		都道府県支出金	1,988,220		地方債	2,945,000		その他			一般財源	629			事業費計 (A)	6,436,797	人 件 費		正規職員従事人数	2		延べ業務時間	20,000		人件費計 (B)	80,000				トータルコスト(A) + (B)	6,516,797
総 投 入 量 (千 円)	事 業 費 内 訳	財源	国庫支出金	1,502,948																																									
			都道府県支出金	1,988,220																																									
			地方債	2,945,000																																									
			その他																																										
			一般財源	629																																									
		事業費計 (A)	6,436,797																																										
人 件 費		正規職員従事人数	2																																										
		延べ業務時間	20,000																																										
		人件費計 (B)	80,000																																										
			トータルコスト(A) + (B)	6,516,797																																									

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称 単位	
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 設計協議の回数 回	
県、国への補助金申請事務 建築工事、電気設備工事、給排水・空調設備工事の施工 製氷施設実施設計		イ 工事日数 日	
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ 魚市場整備の進捗率 (事業費ベース) %	
被災に伴う被害額の算定、手戻り復旧工事費用の積算及び手戻り復旧工事の実施、建築・電気設備・空調設備工事の再開、製氷施設工事の実施、工事進捗に向けての協議及び連絡調整		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称 単位	
・大船渡魚市場 ・漁業者、買受人、市場職員 ・一般市民、観光客		カ 大船渡魚市場の面積 (整備前) m ²	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
・高度な衛生管理に対応した施設になる。 ・新たな観光施設になる。		ク	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
安定して高く売れる。		名称 単位	
		サ 大船渡魚市場の面積 (整備後) m ²	
		シ 衛生管理市場認定件数 件	
		ス 活性化施設面積 m ²	

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
				単位						
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円		8,394		1,809	63,413	
			都道府県支出金	千 円			0	486,334		
			地方債	千 円		13,000	36,800	11,400	174,800	125,400
			その他	千 円				19	23,819	
			一般財源	千 円	5,880	250	5,889	5,624	201	
			事業費計 (A)	千 円	5,880	21,644	42,689	18,833	724,767	149,219
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
		人件費計 (B)	千 円	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	13,880	29,644	50,689	26,833	732,767	157,219	
活動指標			ア	回	4	6	6	12	6	6
			イ	日			45	28	300	300
			ウ	%			1	1	40	35
対象指標			カ	m	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229	9,229
			キ							
			ク							
成果指標			サ	m ²	0	0	0	17,004	17,004	17,004
			シ	件	0	2	3	3	3	3
			ス	m ²	0	0	0	0	0	0

事務事業ID	0584	事務事業名	大船渡魚市場整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

老朽化した大船渡魚市場を整備するため、平成11年度に整備構想検討委員会を設置して、整備構想・計画づくりに着手した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

魚市場の老朽化が進んでいる。また、産地市場における衛生管理や鮮度管理は、一層の充実が求められている。

東日本大震災で被災したことに伴い、手戻り復旧工事が必要となっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

早急な整備とあわせ、関係者の使いやすい施設整備を要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 魚市場の整備充実は水産業関係者の強い要望であり、魚市場は水産業振興の中核となる施設である。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市が設置する公の施設であるため。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 公共施設の整備であり、拡大・縮小の余地はない
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 整備事業は設計段階であり、成果はまだ表れていない
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市の公共施設整備であり、廃止・休止はできない
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 公共施設の整備であり、他に方法はない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 県事業との連携や効率の工法、施設主要機材等の再確認等により、建設事業費の削減を図る
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 今後は、実施設計や建設工事へ進むが、これまで以上の事務事業が見込まれる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市の社会資本整備であり、公平・公正である。

事務事業ID	0584	事務事業名	大船渡魚市場整備事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 建築工事の基礎工事部分での遅れにより、全体的な工程の遅れが生じた。 現在施工中の工事は平成23年9月の完成を目指して進行していたが、東日本大震災で被災し、完成がさらに遅れることとなった。																						
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 建築工事の基礎工事部分での遅れにより、全体的な工程の遅れが生じている。 東日本大震災で被災し、完成がさらに遅れることとなるが、被災状況を十分に検証し、完成後に不具合が生じないようにすることが重要である。 被災に伴う手戻り復旧工事が必要となり、その分のコストが増加する見込みである。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																								

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課
-------	-----

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由 水産物流通拠点の整備事業であり、早期完成に向けて業務を進める																				
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 東日本大震災で被災し、完成がさらに遅れることとなるが、被災状況を十分に検証し、完成後に不具合が生じないようにすることが重要である。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 政策推進会議等での指摘事項
